

本資料は IAQG COT が作成した補足規定 004 を和訳したものである。日本語訳は参考和訳であり、英文と相違がある場合は、英文が優先される。



**International Aerospace Quality Group (IAQG) Certification Oversight Team (COT)  
Supplemental Rule 004—Rules for 9104-1:2022, 9104-2:2023, and 9101:2022 Transition**

**初版発行日:2022 年 6月 28 日**

**改訂A: 2022年9月 1日**

**改訂B: 2022年12月7日**

**改訂C: 2023年8月14日**

**目的:**

IAQGは、全ての認証スキーム規格、デルタトレーニング、及びOASIS V3を調整されたタイムラインに再調整するために、9104-1:2022、9104-2:2023 及び 9101:2022の移行を停止しました。補足規程 (SR 004 Rev C) の本改訂では、認証スキームの各機関が適合性を維持する進め方について詳述します。

再調整が完了すると移行が再開され、新しいタイムラインがIAQGによって通知されます。

**適用範囲:**

この補足規定(SR)は、次の利害関係者に適用されます。

- Certification Oversight Team (COT)
- 地域管理委員会 (RMS)を含むセクター管理委員会 (SMS)
- 認定機関 (AB)
- 認証機関 (CB)
- AQMS 被認証組織・審査員資格証明機関(AAB)
- 資格証明された AQMS 審査員(AAs)
- 研修提供者承認機関(TPAB)
- 研修提供者(TP)
- 業界(OP)監査員

**参照規格:**

- 9104-1 航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステムの認証に対する要求事項
- 9104-2 Requirements for the Oversight of Aviation, Space, and Defense Quality Management System Certification Programs
- 9101 航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステムの審査実施に対する要求事項

## 一般:

すべての利害関係者は、9104-1、9104-2及び9101規格及び関連するResolutionの適用される版に対して、適合を確実にしなければならない。

### ICOP スキームの利害関係者への要求事項:

#### 1. 適用されるRMSを含むセクター管理委員会 (SMS)は、以下を実施しなければならない:

- 1.1 9104-1:2022 要求事項に適合するよう、現在のマネジメントシステムのプロセス及び手順書に基づく作業を継続する。
- 1.2 9104-1:2022 要求事項に対する追加のCB、AAB、又はTPABを認知、又は承認を行わない。
- 1.3 9104-1:2012/2013に基づく運用を行うことに同意しない限り、新規AB、AAB又はTPABの承認を開始しない。既に処理中の新規AB、AAB、及びTPABの承認は継続してもよい。

#### 2. 認定機関(AB)は、以下を実施しなければならない:

- 2.1 9104-1:2022 要求事項に適合するよう、現在のマネジメントシステムのプロセス及び手順書に基づく作業を継続する。
- 2.2 CBへ9104-1:2022 要求事項に対する認定範囲の変更を行わない。認定範囲の変更は、9104-1:2012/2013に従って行ってもよい。
- 2.3 9104-1:2012/2013に基づく運用を行うことに同意しない限り、新規CBの認定を開始しない。既に処理中の9104-1:2022 認定範囲の変更も実施してはならない。
- 2.4 9104-1:2022の認定が行われ、影響を受けるCBに9104-1:2012/2013に準拠して運用するよう要求する。

#### 3. 認証機関(CB)は、以下を実施しなければならない:

- 3.1 9104-1:2012/2013 審査工数の日数の計算の要求事項の使用を含め、9104-1:2012/2013要求事項に従って運用する。
- 3.2 プロセス及び手順書が9104-1:2012/2013 要求事項に準拠していることを確実にする。  
注記 :一部のCBは、9104: 2022 要求事項に準拠するために、既にいくつかの内部手順を変更していることを認識している。CBは認証審査を9104-1:2012/2013にて実施する間、内部要求事項 (すなわち、内部プロセス及び参照文書)は、9104-1:2022 要求事項に基づき運用してもよい。
- 3.3 認証構造又は審査プログラムに影響する変更がクライアントから要求された場合、又は是正措置の一部として要求された場合を除き、クライアントの認証構造又は審査プログラムの変更は要求しない。
- 3.4 移行の停止及び関連する変更をAQMS認証組織へ連絡する。

#### 4. AQMS 被認証組織は、以下を実施しなければならない:

- 4.1 該当する9100シリーズ規格及び9104-1:2012/2013の要求事項に引き続き適合することを確実にする。

#### 5. 審査員資格証明機関 (AAB)は、以下を実施しなければならない:

- 5.1 9104-1:2022 要求事項に適合するよう、現在のマネジメントシステムのプロセス及び手順書に基づく作業を継続する。

#### 6. 資格証明されたAQMS審査員は、以下を実施しなければならない:

- 6.1 AQMS 審査に9104-1:2012/2013及び9101:2016要求事項を適用する。

6.2. IAQGの指示があれば、義務化されたAATTデルタトレーニングを完了する。

注記1 : 成功裏に完了しているAATTデルタトレーニングは認知される。。

注記2 : AATTデルタトレーニングの最終試験の再受験は、2023年11月30日までに完了する必要がある。再受験は2023年10月31日まで購入可能である。2023年11月30日までに再受験に合格しなかった受講者は、改訂されたトレーニングがリリースされたら（追加料金なしで）プログラムをやり直すことが要求される。。

注記3 : AATTデルタトレーニングを既に購入しているAQMS審査員は、購入日から1年間、または改訂されたトレーニングのリリース日まで（いずれか遅いほうまで）、AATTデルタトレーニングを受講できる。新しいトレーニングがリリースされると、AATTデルタトレーニングを既に購入している受講者は、リリースから1年間、改訂されたトレーニングにアクセスできる。

**7. 研修提供者承認機関(TPAB) は、以下を実施しなければならない:**

7.1 9104-1:2022 要求事項に適合するよう、現在のマネジメントシステムのプロセス及び手順書に基づく作業を継続する。

**8. 承認された研修提供者(TP)は、以下を実施しなければならない:**

8.1 9104-1:2012/2013要求事項に基づき運用を継続する。

注記 : AATTコースの実施を承認されたTPIは、9101:2016に基づいたAATTコース実施を再開可能である。

**9. OP 監査員 は、以下を実施しなければならない:**

9.1 この移行規程に従って、現在の状況を考慮して評価されるICOPスキーム各機関の該当する要求事項に対して、オーバーサイト活動を行なうことを確実にする。